

5. 電話施設数状況等

区 分 年 度	加 入 電 話					公 衆 電 話		
	単 独 (回線)	共 同 (回線)	計 (回線)	(再掲)ピンク電話		デジタル (台)	アナログ (台)	計 (台)
				リタル・売渡し (台)	売渡し専用 (台)			
令 和 元 年 度	8,350	…	8,350	…	…	29	41	70
令 和 2 年 度	7,351	…	7,351	…	…	29	41	70
令 和 3 年 度	7,158	…	7,158	…	…	28	38	66
令 和 4 年 度	6,560	…	6,560	…	…	24	29	53
令 和 5 年 度	5,888	…	5,888	…	…	26	20	46

(注) ピンク電話は現在集計していない。

(資料：N T T西日本)

6. 郵便取扱状況

区 分 年 度	通 常 郵 便 物				小 包 郵 便 物				ポ ス ト 数
	引 受 (千通)	配 達 (千通)	合 計 (千通)	一日平均 取 扱 数 (通)	引 受 (千個)	配 達 (千個)	合 計 (千個)	一日平均 取 扱 数 (個)	
令 和 元 年 度	4,574	11,644	16,218	44,433	121	313	434	1,189	72
令 和 2 年 度	3,858	10,566	14,424	39,518	101	302	403	1,104	72
令 和 3 年 度	3,764	10,388	14,152	38,773	86	300	386	1,057	72
令 和 4 年 度	3,435	10,033	13,468	36,899	85	286	371	1,016	72
令 和 5 年 度	2,987	9,352	12,339	33,713	92	276	368	1,005	72

(資料：城陽郵便局)

第5章 水道・電気・ガス

1. 上水道事業規模

区 分 年 度	給 水 人 口 (人)	普 及 率 (%)	年 間 配 水 量 (千m ³)	一人一日平均 配 水 量 (ℓ)	配 水 管 等 の 延 長 (km)	消 火 栓 数 (栓)
令 和 元 年 度	75,701	99.8	7,870	284	261	1,472
令 和 2 年 度	75,362	99.8	7,951	289	262	1,470
令 和 3 年 度	74,892	99.8	7,906	289	264	1,656
令 和 4 年 度	74,210	99.8	7,851	290	265	1,662
令 和 5 年 度	73,542	99.8	7,749	288	267	1,660

(資料：上下水道部)

2. 水道施設概要

(令和6年3月31日現在)

区分	名 称	容 量	内 容	所 在 地	完 成 年 月 日
第1 浄水場	第 1 浄 水 場	(㎡) —	深井戸 Φ350 4本 水中ポンプ22～30kw 4台 送水ポンプ11kw 3台	富 野 柏 平	昭和48年 4月30日
	中 区 配 水 池	1,000	R C 製	富 野 柏 平	昭和48年 5月17日
		2,000	P C 製		昭和55年 7月15日
	長谷山ポンプ所	—	送水ポンプ3.7kw 2台	観 音 堂 甲 畑	昭和40年 3月31日
	長 谷 山 配 水 塔	100	鋼鉄製	富 野 長 谷 山	昭和48年 3月30日
	芦 原 ポ ン プ 所 及 び 受 水 池	100	送水ポンプ22kw 2台	中 芦 原	昭和53年 3月31日
	芦 原 配 水 池	700	P C 製	中 芦 原	平成15年9月30日
施設能力 1日当たり 3,900㎡ (自己水)					
第2 浄水場	第 2 浄 水 場	—	深井戸 Φ350 7本 水中ポンプ18.5～37kw 7台 送水ポンプ110kw 3台	寺 田 大 谷	昭和50年 6月30日
	低区第1配水池	3,000	R C 製	寺 田 大 谷	昭和45年 5月31日
	低区第2配水池	2,000	R C 製	寺 田 大 谷	昭和50年 6月30日
	高 区 配 水 池	2,000	R C 製	寺 田 深 谷	昭和46年 4月20日
		2,000	P C 製		昭和59年10月30日
		2,000	P C 製		平成14年 1月10日
	宮ノ谷ポンプ所	—	加圧ポンプ5.5kw 2台	寺 田 深 谷	昭和46年 6月15日
施設能力 1日当たり 6,500㎡ (自己水)					
第3 浄水場	第 3 浄 水 場	8,000	深井戸 Φ500 3本、Φ350 5本 水中ポンプ22～37kw 8台 直配ポンプ75kw 6台 送水ポンプ110kw 3台	平 川 広 田	昭和55年 7月 7日
	中区加圧ポンプ所	—	加圧ポンプ15kw 2台	富 野 東 田 部	平成23年 3月31日
	施設能力 1日当たり 19,400㎡ (自己水) 14,500㎡ (府営水)				
合計施設能力 1日当たり 44,300㎡					

(資料：上下水道部)

3. 電灯及び電力量

区 分 年 度	電 力 量 (千kwh)		
	総 数	電 灯	電 力
平成23年度	196,276	174,656	21,620
平成24年度	190,600	170,061	20,539
平成25年度	187,700	167,608	20,092
平成26年度	177,062	158,129	18,934
平成27年度	169,170	150,857	18,314

(注) 各区分毎に千kwh未満四捨五入のため、総数において一致しない場合がある。

(資料：関西電力株式会社)

特定規模需要を除く数値である。

電力自由化に伴い、平成28年度以降の市町村別の電力量の公表を中止とする。

4. ガスの需要戸数及び需要量

区 分 年 度	需 要 戸 数 (戸)							需 要 量 (千m³)						
	総 数	家庭用	医療用	商業用	工業用	公 用	それ以外	総 数	家庭用	医療用	商業用	工業用	公 用	それ以外
平成 26年度	21,566	21,100	49	304	61	52		23,821	8,329	561	1,000	13,735	196	
平成 27年度	21,679	21,211	48	302	63	55		23,127	7,947	549	969	13,475	186	
平成 28年度	19,510	19,163					347	22,534	8,031					14,503
平成 29年度	18,549	18,204					345	20,638	8,196					12,442
平成 30年度	17,583	17,253					330	20,044	7,252					12,792

(注) 45MJ (約10,750kcal) 換算

(資料：大阪ガス株式会社)

需要量は、千m³以下四捨五入のため総数において一致しない場合がある。

平成29年4月からガス小売全面自由化に伴い、公表についてはガス販売量区分を「家庭用・それ以外」に変更する。

ガス小売全面自由化の進展を受け、2019年度以降の実績を差控える。

第6章 土 木

1. 国・府道の状況

(単位：m、%) (令和5年度末現在)

種 別	管 理 者	実 延 長	舗装実延長	舗 装 率
国 道	24 号	7,333.0	7,333.0	100.0
	307 号	5,597.3	5,597.3	100.0
	計	12,930.3	12,930.3	100.0
府 道	城 陽 宇 治 線	2,647.4	2,647.4	100.0
	上 狛 城 陽 線	3,017.3	3,017.3	100.0
	富 野 荘 八 幡 線	2,493.1	2,493.1	100.0
	寺 田 水 主 線	1,193.9	1,193.9	100.0
	富 野 荘 停 車 場 線	280.2	280.2	100.0
	長 池 停 車 場 線	70.3	70.3	100.0
	山 城 青 谷 停 車 場 線	545.5	545.5	100.0
	山城総合運動公園城陽線	3,805.3	3,805.3	100.0
	八 幡 城 陽 線	2,395.0	2,395.0	100.0
	内 里 城 陽 線	2,804.6	2,764.1	98.6
	計	19,252.6	19,212.1	99.8

(注) 舗装率 = $\frac{\text{舗装実延長}}{\text{実延長}} \times 100$

(資料：京都国道事務所、京都府山城北土木事務所)

2. 市道の状況

(各年度末現在)

区 分	年 度	令 和 3 年 度	令 和 4 年 度	令 和 5 年 度
実 延 長 (m)		281,496	281,496	281,496
舗 装 実 延 長 (m)		253,976	253,976	253,976
舗 装 率 (%)		90.2	90.2	90.2
総 面 積 (㎡)		1,665,467	1,665,467	1,665,467
路 線 数		1,249	1,249	1,249

(注) 舗装率 = $\frac{\text{舗装実延長}}{\text{実延長}} \times 100$

(資料：管理課)